

# 湯来ふるさと新聞

第30号（平成20年12月19日発行）

738-0513  
広島市佐伯区  
湯来町伏谷 535  
湯来ふるさと  
プロジェクト  
☎0829-86-1439

そばの実を収穫しました  
きれいにするのが大変！

12月13日（土）と14日（日）にそばの実を収穫しました。収穫したのは、11月22日に刈って束ねて、農村環境改善センターの物干し台に干してあった分です。

そばの実は結局「手でこく」方法で収穫しました。棒でたたく、干菌こきを使う：などいろいろな考えましたが、時間はかかるけど、最も確実に原始的な方法を選びました。

おかしかったのはここから。手でこいたなら、実と一緒に葉っぱと茎も収穫できてしまいます。実とそれ以外に分けようと、扇風機やドライヤー、小さな篩（ふるい）やザル、すだれのようなものを使ってチャレンジしましたが、うまくいきません！



手でそばのみをモミモミ。ざるに入れて振るう。ゴミは扇風機の風で飛ばはず・・・。



少しはきれいにになった  
そばの実



すだれのようなものの上に実を乗せて、下から扇風機の風を送ればゴミは飛ばはず・・・。

農村環境改善センターの民具収蔵庫にある唐蓑（とうみ）を使ってもらいます。…とこのことです。動くんでしょっか？どうしましょっか？チマチマと少しずつ篩にかけるしかないのではありませんか？

さら疑問。石臼でそばを粉にしたいと思ってるのですが、その時、「この黒い殻がついたまの实を入れていいのでしょうか？

そばがら（そばの茎）は、焚き火学会にお願いして「灰」にしてもらいます。そして「灰汁（あく）」を作って、その「灰汁」で手作りこんにやくにチャレンジしましょう。

今の様子では、とても「年越

しそば」には間に合いそうにありません。そばを打つことも学びたいです。1月中旬には、農改Cで「そば打ち講習会」が開催される予定とのこと。一緒に参加して、そば打ち名人になりましょう。

## 干支の灯りが楽しみです

農村環境改善センターの「干支の灯り」づくりが、着々と進んでいます。

設計図はありません。おやじ会のメンバーは「あ・うん」の呼吸で各自の得意部位を作っています。湯来町のNHK・セミプロカメフラマンの小林さんも作業に立ち会い、カメラを回しています。



「干支の灯り」作りが始まったのは「千年の「辰年」から。「兎年までは作る」ということです。

点灯は、クリスマス頃から1月末までの予定。時間は午後5時から午後11時までです。お楽しみに！

## 久日市の朝市は「一菜合采」

12月7日（日）にオープンした、久日市の日曜朝市



「一菜合采」。場所は林クリニックの斜め向かいです。新鮮野菜、手作りこんにやく、おもち、葉ボタン、しめ飾りなどを販売しています。

最初はテントを建てての営業でしたが、先ごろ中古のプレハブを譲り受け、地域の人たちが建設されました。今は雨風が多少しのぎやすくなりそうです。

「一菜合采」の代表は新本三郎さんです。詳しくは直接お問い合わせください（0826・23・01355）

## まちづくりワークショップ

報告会は3月15日（日）1年半近くにわたって行ってきた、佐伯区まちづくりワークショップ。その成果報告会を3月15日（日）午後2時から、佐伯区役所6階、大会議室で行います。

湯来地区まちづくり構想案は、ワークショップに参加したメンバーが、分担して発表します。参加は自由です。報告会に来て、報告を聞いてください。

残りのそばの脱穀を  
21日（日）にします

畑で倒伏していたそばを、農村環境改善センターの皆さんが刈り取ってくださっています。束ねてはありますが、ブルーシートの上にひるがて、乾燥するようにしてあります。



21日（日）の朝9時から正午まで、収穫作業をします。都合の付く人は農改Cへ来てください。

峠の母里は、12月21日（日）峠の母里の12月の営業日は、21日（日）です。今月は「いのしし汁」の振る舞いです。餅つきもするそうです。ごっそお立ち寄りください。

## お知らせ

●1月の定例会は、12日（月・成人の日）午後7時から湯来体育館会議室で行います。湯来南公民館は暖房工事のため、使えません。お間違いないようお集まりください。